

省エネ家電買い換え体験プログラム  
CO<sub>2</sub>削減チャレンジゲーム(LDK編)

家庭からの二酸化炭素排出量について説明

作業1：家電機器の選択

家電機器カードの中から、家庭にある機器に近い(仕様等)ものを選び、LDKボードの上に並べてください。このとき、機器のイラストを表にして並べてください。

作業2：家電から出ているCO<sub>2</sub>量を計算

LDKに並べたカードを裏返し、記載してある年間CO<sub>2</sub>排出量を、電卓で足してください。チャレンジシートに、「現在の年間CO<sub>2</sub>排出量」を記入してください。

作業3：CO<sub>2</sub>削減目標値の設定

次に、「年間CO<sub>2</sub>排出量 18%削減」を目標に、チャレンジシートに、目標値(kg)を設定・記入してください。

例) モデルケース 2,200kg から 18%削減ということであれば、396kg。  
約 400kg の削減を目指す。

作業4：暮らしの工夫による削減

①チャレンジシートの「STEP1 暮らしの工夫による削減にチャレンジ！」から、できそうな取り組み、やってみようという取り組みを選んでください。

暮らしの工夫による削減効果を確認 (進行役が削減量を発表)

②各自、選択した行動による目標削減量の合計を計算し、記入してください。

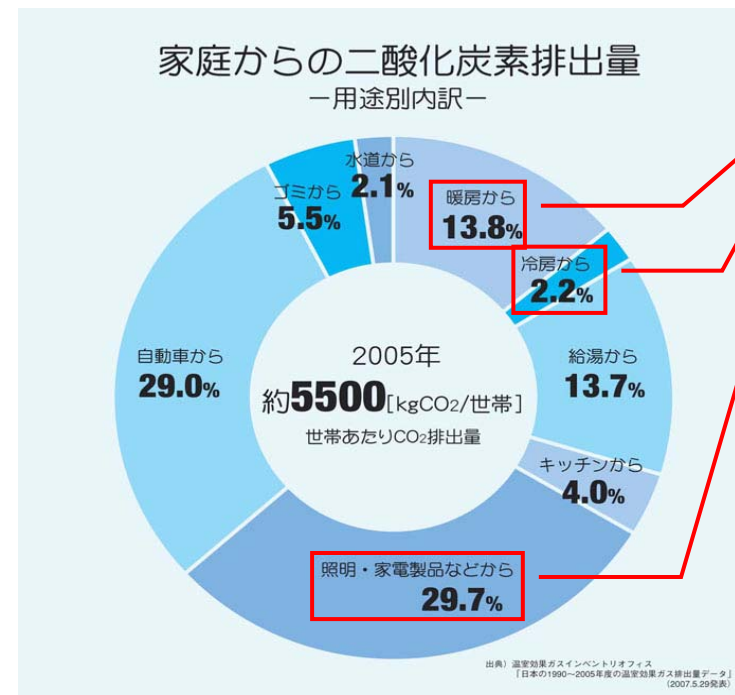
作業5：省エネ家電買い換えによる削減

①eマークのついたカードのうち、作業1でLDKボードに並べた機器で、買い換えを検討している機器カードを選び、隣に並べてください。

②並べ終わったら、カードを裏返し、削減CO<sub>2</sub>排出量を計算し、チャレンジシートに記入してください。

③最後に、STEP1とSTEP2の削減量の合計を計算して下さい。

一世帯あたりの年間CO<sub>2</sub>排出量は、約 5,500kg



家庭から排出される二酸化炭素のうち、家電に関するものは、「暖房」・「冷房」・「照明・家電製品などから」の3用途から、計 45.7%。

※キッチンのメインである厨房機器(例えば、IHクッキングヒーター、ガスコンロ)、給湯については、今回のプログラムでは対象外とします。

● Column 5,500kgの根拠 ●

この数字は、電気なら電力会社の団体である電気事業連合会、ガスなら日本ガス協会など、各エネルギーの家庭向け消費量(販売量)の平均値を合計したものです。

(参考: 温室効果ガスインベントリオフィス、日本国温室効果ガスインベントリ報告書)

「省エネ家電買い換え体験プログラム CO<sub>2</sub>削減チャレンジゲーム(LDK編)」では・・・

本プログラムの対象とするLDK(リビング・ダイニング・キッチン)から、排出される二酸化炭素排出量を全体の約40%、約2,200kg(モデルケース)とします。

「1人1日1kg削減」は、「一世帯あたり年間985kg削減」 — 現状から18%削減を —

環境省は、「1人1日1kg削減」キャンペーンを行っています。

ということは、年間で、「1人365kg」が、削減目標となります。

CO<sub>2</sub>削減には、「一家団らんの時間を増やして照明や冷暖房の節約を」など、一人だけではできない取り組みもあります。

ということで、視点を家庭に移しましょう。

愛知県の一世帯あたりの人員は、2.7人(平成17年国勢調査)なので、

一世帯あたりのCO<sub>2</sub>の年間削減目標は、

$$365 \text{ [kg/人]} \times 2.7 \text{ [人]} = 985.5 \text{ [kg]}$$

この、CO<sub>2</sub>年間削減量985kgは、家庭からの二酸化炭素排出量5,500kgの約18%にあたります。

【出典: 平成17年国勢調査 あいちの人口、平成17年10月現在】